

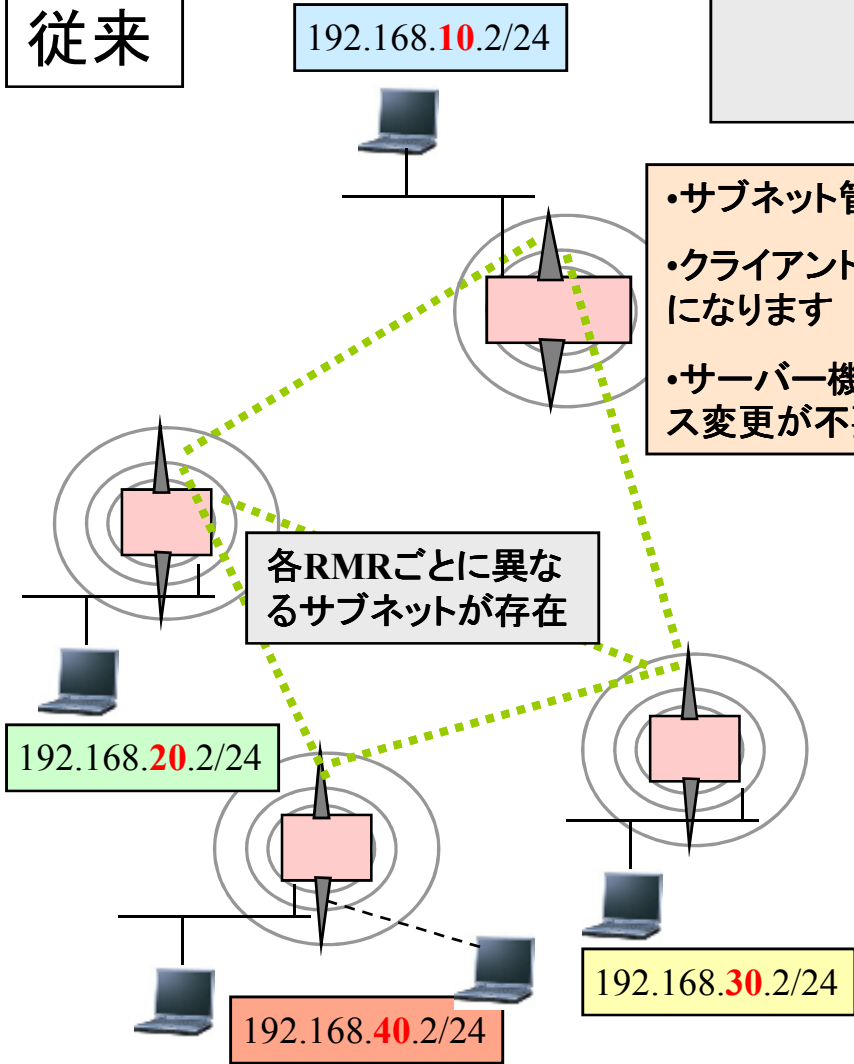
RMR 新機能のご紹介

(V2.2)

2008年10月
(RMR703 ,7000シリーズ)

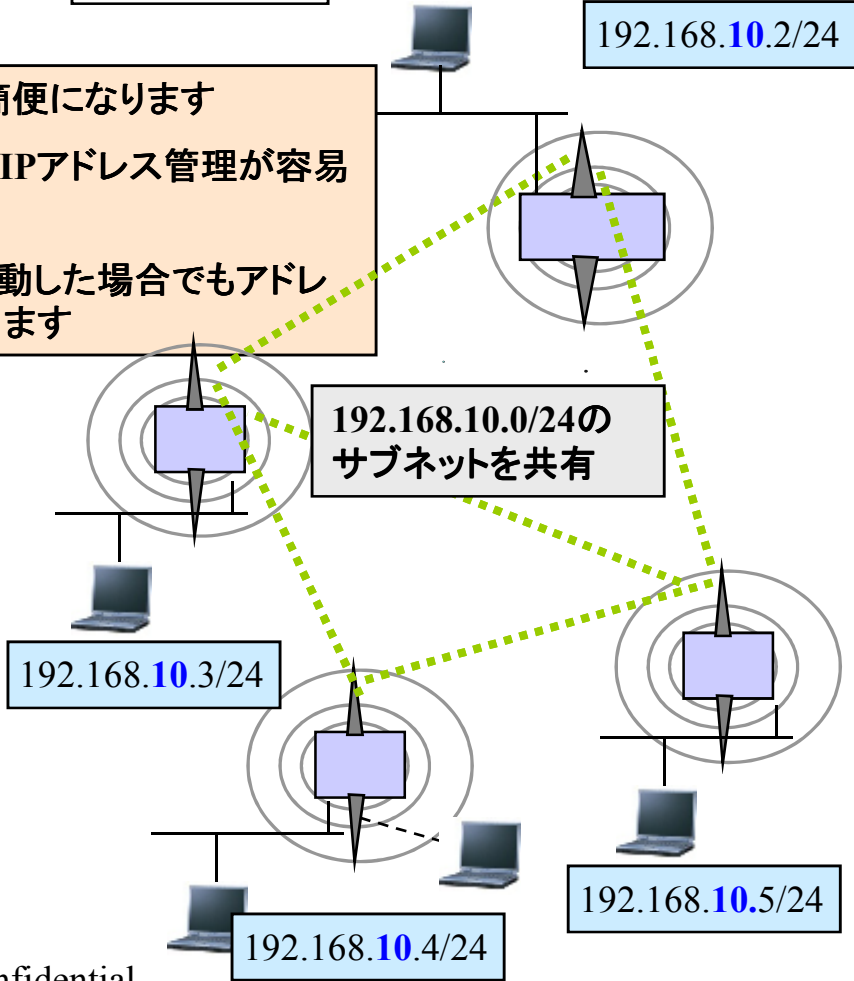
Flat Stubサブネット機能(複数RMRでのセグメント共有)

従来



新機能

- サブネット管理が簡便になります
- クライアント機器のIPアドレス管理が容易になります
- サーバー機器を移動した場合でもアドレス変更が不要となります



Flat Stubサブネット機能(複数RMRでのセグメント共有)

「メッシュネットワーク越しのサブネット共有を可能とするflat stub subnet 機能」

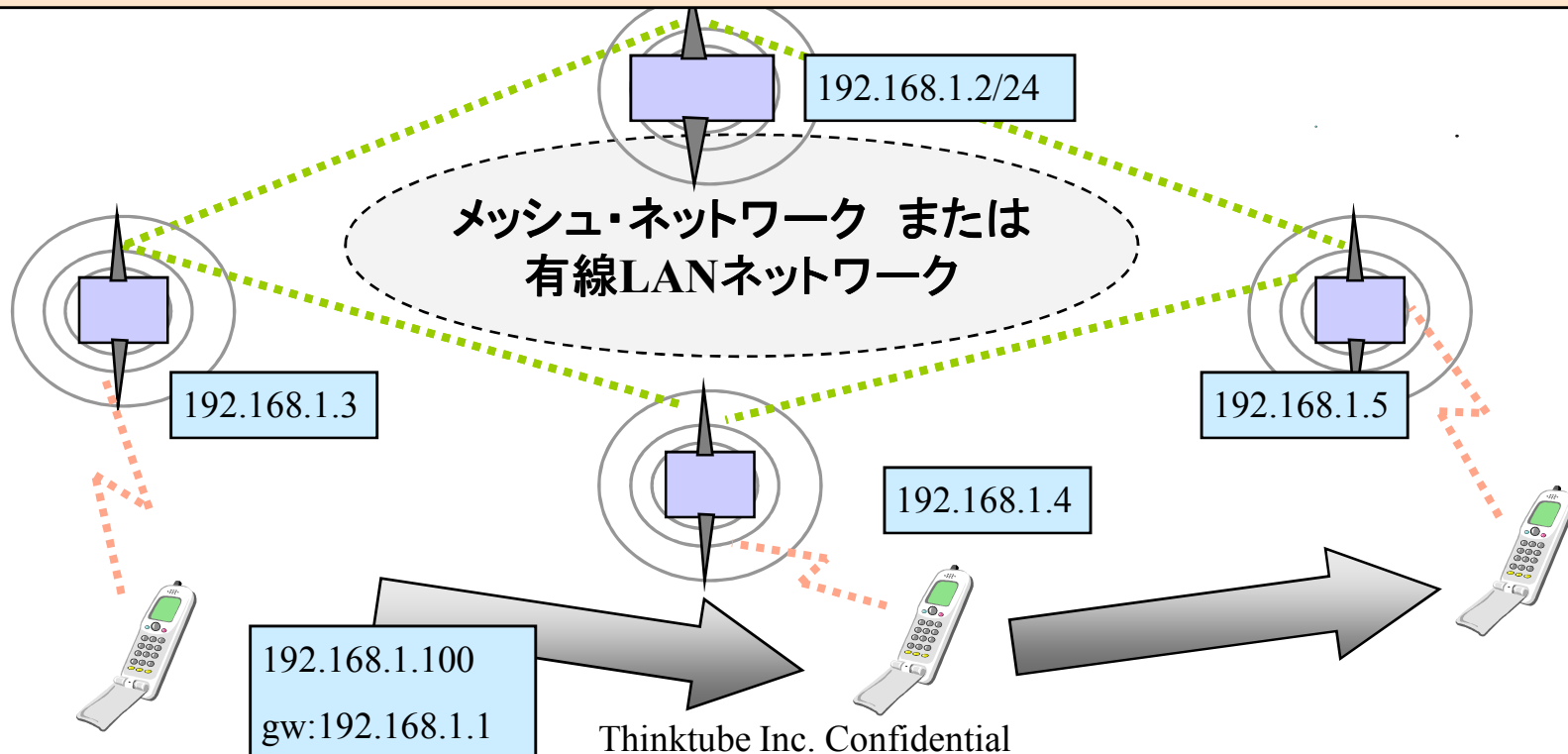
従来は、各RMRの外部ネットワーク(有線LANインターフェースなど)は個別のサブネットとして定義する必要がありました。新機能のflat stub subnet 機能は、各RMRの外部ネットワークを共通のサブネットとして定義可能とします。

RMRはL3(ネットワーク第3層)機器で、ブリッジ(L2)機器ではありませんが、ブリッジと同等の機能をL3機器として提供いたします。この機能により、IPカメラや無線IP電話などの機器が接続するRMRが変わるたびに これらの機器のIPアドレスを再設定する必要がなくなり簡易、迅速にご利用いただくことが可能になります。

また、次の「音声・映像端末の高速ローミング機能」を実現する前提機能として flat stub subnet 機能は重要な役割を果たします。

音声・映像端末の高速ローミング機能

- ・ローミングを行う無線LANクライアント端末には特別なソフトウェア機能は不要です
- ・全ての無線LANクライアント機器は直ちに当高速ローミング機能のサポート対象となり得ます
 - ・例: 無線IP電話／携帯IPカメラ／ノートPC／ウェアラブルPC／その他
- ・RMRは以下2つの無線LANインターフェースを提供
 - ・メッシュ・ネットワーク用無線LANインターフェース
 - ・ローミング用無線LANアクセスポイント用インターフェース



音声・映像端末の高速ローミング機能

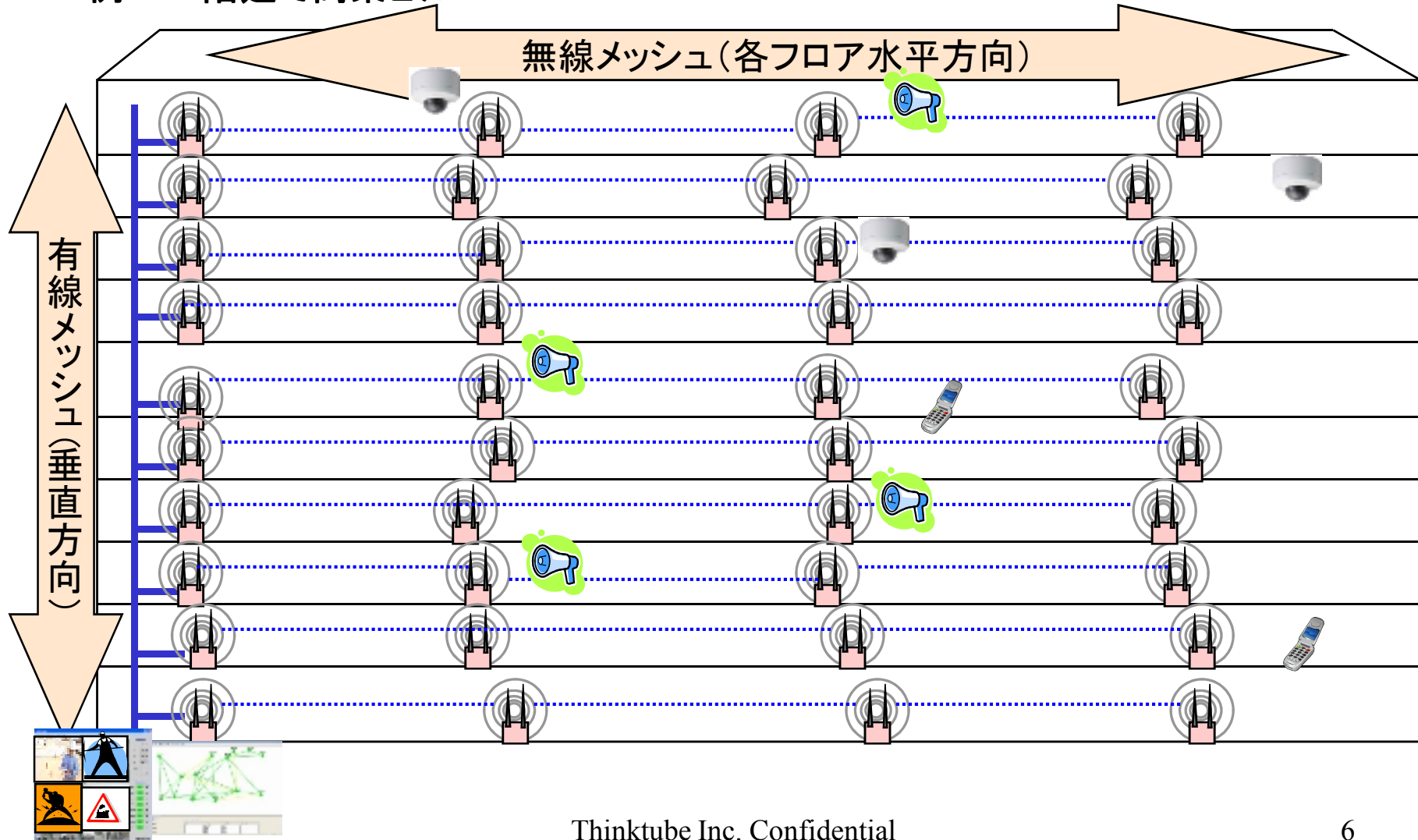
「音声・映像端末の高速ローミング機能」

RMR700または7000に接続する無線LANクライアント端末のローミングを可能とします。例えば 屋外の広域エリアを移動しながらの無線IP電話利用が可能となります。従来は、無線IP電話が接続するアクセスポイントが換わるたびに無線IP電話の再接続が必要であったり、「Mobile IP」といった運用負荷の大きい手法を活用する必要がありました。

当機能をご利用いただくことで簡易に無線LANクライアント端末のローミングを実現することが可能となります。また次の 有線・無線シームレス・ネットワーク機能と併せてご利用いただくことも可能ですので、屋内・屋外にわたるローミング・エリアの構築も実現可能です。

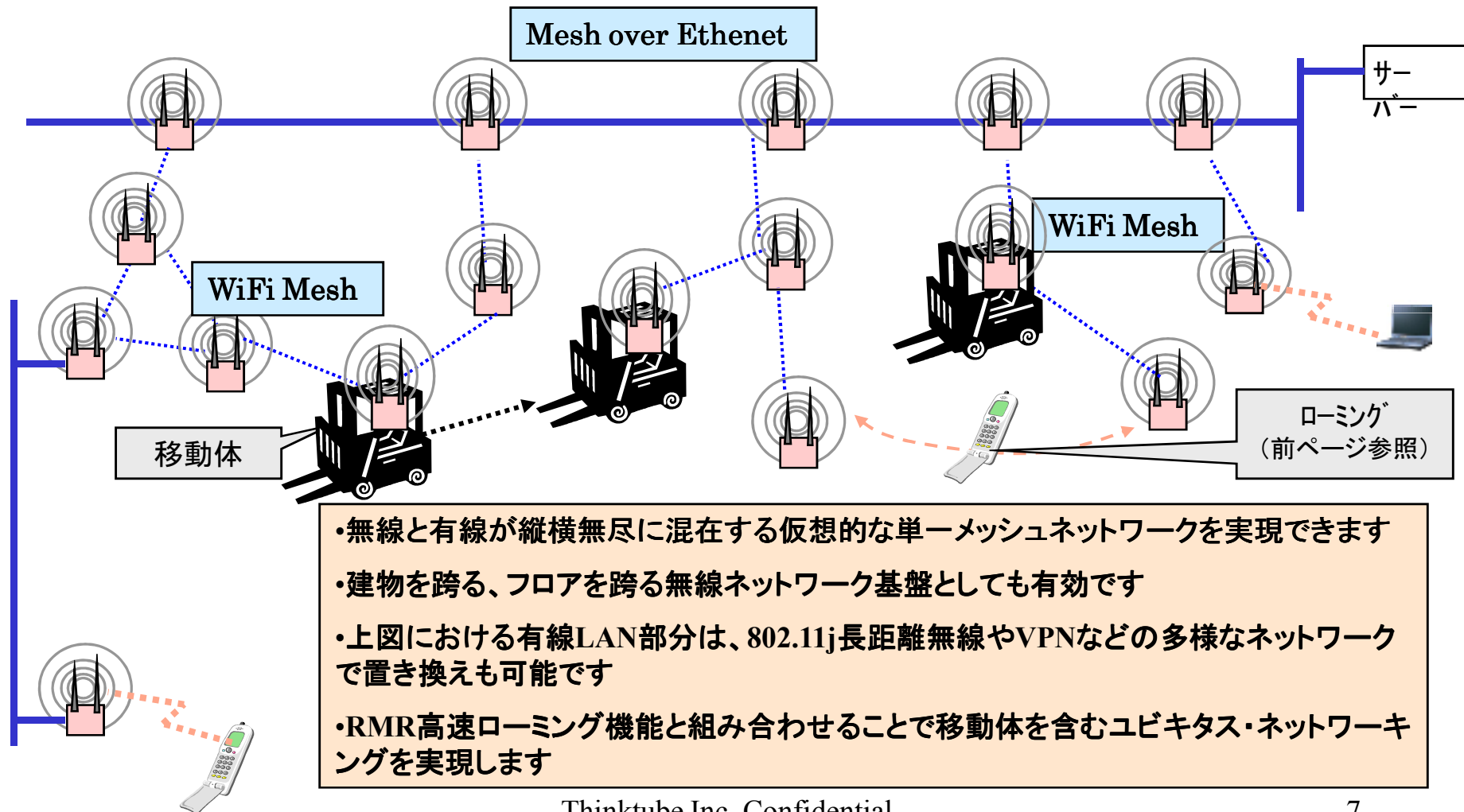
有線・無線シームレス・ネットワーク機能

例. 10階建て商業ビル



有線・無線シームレス・ネットワーク機能

例 基幹有線LANに沿ったメッシュ・ネットワーク



- 無線と有線が縦横無尽に混在する仮想的な単一メッシュネットワークを実現できます
- 建物を跨る、フロアを跨る無線ネットワーク基盤としても有効です
- 上図における有線LAN部分は、802.11j長距離無線やVPNなどの多様なネットワークで置き換えも可能です
- RMR高速ローミング機能と組み合わせることで移動体を含むユビキタス・ネットワークを実現します

有線・無線シームレス・ネットワーク機能

「有線・無線シームレス・ネットワーク機能」

当機能は、無線メッシュネットワークという概念を拡張し、より柔軟なネットワーク構築を可能とします。従来の無線メッシュネットワークは無線接続された各通信機器から構成されましたが、このネットワークの一部を有線接続で置き換えることを可能にするのが狙いです。

例えば、建物の外に構築した無線メッシュネットワークは、建物そのものが無線通信にとっては見通しを妨げる壁になりますが、建物内は有線、屋外は無線と通信媒体を混在させることが可能となります。

「有線」は インターネット経由のVPNでも構いませんので、遠隔地(東京・大阪)の無線メッシュネットワークをVPNで接続して仮想広域メッシュネットワークを構築することも可能です。

また有線領域と無線領域をオーバーラップさせ、有線部分の障害発生時に通信サービスを自動的に無線に切り替えるといった「有線バックアップ」用途でのご利用も可能となります。

”有線ネットワーク”はEthernet、光ファイバ、PLC さらにインターネット上のVPNなどを含みます。802.11jやWiMAXなどで接続された無線リンクもサポート対象となります。

RMR新機能(V2.2)のご利用

これらの機能は、最新版ファームウェア(v2.2.0)の基でご利用可能となります。
RMR700シリーズまたは7000シリーズをお使いいただいている場合は現バージョンの
ファームウェアからのファームウェア・アップグレード(有償)もご用意していますので
ご検討ください。(註: ハードウェア・ボードを含めたアップグレードが必要となる場合も
ございます)